仕様

寸　法　(mm)	SA350（SA350L）：W174×H174×D69（板金ベース部除く） SA350-IF：W168×H62×D128（端子台突起部含む）
使　用　電　源	SA350 AC85V～AC260V入力（避雷回路内蔵。注文仕様の高性能避雷器内蔵タイプあり）。 電源電圧低下は自動検知し通報、瞬停対策約４秒。 ※標準バッテリー：リン酸鉄リチウムイオンLiFePO4電池 12.8V/3200mAh、最大6個並列可能 。 DC11-24V入力（小容量ソーラーパネル直結可能。 入力中は内蔵バッテリーへ充電を行う。） 単相AC100V　50/60Hz SA350-IF DC11-24V入力（SA350より供給）
使　用　条　件	周囲温度：0～50℃　湿度：20～85%RH（結露無きこと）
入　　出　　力	**デジタル入力** SA350(情報部) 無電圧接点入力、停電補償入力　4点 停電（電源異常）、避雷器故障、ドア開閉信号、予備入力(4点) SA350-IF(入出力部) 無電圧接点入力16点 切替で機器運転入力４点、パルス積算入力２点 **デジタル出力** SA350 AC250V/0.5Aをオンオフ可能なa接点出力4点 （ファン、ヒータ、水位レベル出力2点） SA350-IF AC250V/0.5Aをオンオフ可能なa接点出力4点（遠隔操作出力） **アナログ入力** SA350-IF（入出力部）：５点 ・2線式水位計入力2点（配線替えにより4-20mAに切替可能。 10点折れ線近似機能付き。アナログパルス変換・積算機能付き） ・0-5V電圧入力1点 ・運転電流入力2点（設定により100A/300Aレンジ切替）
表　　示	**画面** 有機EL　ANK16文字2行の有機EL（OLED）表示器。 ドア閉時および長時間無操作時消灯。 **LED** SA350：6個 電源（緑）,警報（赤）,通信（緑・赤）,保守（赤）, IOモニターモード（緑）,設定モード（緑） SA350-IF：3個 ・電源（緑）,警報（赤）,通信（緑・赤）
通　信　仕　様	携帯パケット通信　LTE-M（LTE Cat.M1）、２拠点自動接続切替 通信網経由問い合わせ通信、警報などのイベント通信 オプションでクラウドと常に双方向でデータを送受化可能 （リアルタイム通信。最短３秒間隔）

コントローラー設置例

残留塩素管理システム

遠隔で薬液注入量の設定変更、管理者の負担を軽減し経費を削減。

測定器を遠隔地からスマホで校正。
残塩濃度の比較が容易に行え、管路系統の残留塩素を一画面で確認。

施設統廃合などによる移設も容易。

W350 × H650 ×D235

水位監視システム

停電時はバッテリーにより長時間水位監視継続。
バッテリー交換不要。
（10 年後動作確認推奨）

水位のデータを一般公開システムへ表示、住民への情報提供を実現。

気象庁配信の高解像度降水ナウキャストと連携。

W350 × H800 ×D235

構成種類・外形寸法 W幅×H縦×D奥行（mm）

①バッテリー内蔵 一体式　W174×H350×D70

SA350-IF

SA350・SA350-IF 一体構造で、奥行スペースが少ない制御盤への設置に適しています。
停電監視用バッテリーを１個内蔵。
停電時は２分間欠監視で 24 時間水位の監視が行えます。
バッテリー容量：3.6Ah 交換は不要です。
図は SA350・SA350-IF を例に示します。

②バッテリー内蔵 分割式　W196×H175×D105

図は SA350

金具内部に停電監視用バッテリーを標準で１個内蔵します。
バッテリーは２個（標準１・増設１）まで内蔵できます。
取り付けはビス止め又は DIN レールに対応。

③バッテリー別置き 分割式　W174×H200×D70

図は SA350L

SA350 または SA350L に対応。
停電監視用バッテリーを使用しない場合および停電用バッテリーを別のスペースへ取り付ける場合に用います。
取り付け金具付属（1.6t 平板）

④入出力部 SA350-IF　W168×H62×D128

変換器内蔵により、２線式水位計を直接接続。
ポンプの運転電流も計測できます。
取り付けは DIN レールに対応。

上図内の注意シールは一例を示します。

一村一志運動 出版事業　神話の里、出雲の治水に生涯をかけた偉人たちが小説・児童文学で蘇る　人間自然科学研究所

周藤彌兵衛
（1651～1752）

悠久の河
周藤彌兵衛翁物語
日英２カ国対訳絵本

出雲国八雲村を流れる意宇川の洪水から村を救うため、56歳で一念発起し、硬い岩山をノミと槌で切り崩し、97 歳で「切通し」完成、洪水のない豊かな村をつくり 102 歳で大往生をとげた。

健康 環境 平和はひとつ 全国世界の水の偉人顕彰事業を提唱

2019 年 6 月 8 日 開催、全国世界水の偉人覚醒顕彰祭 松江市 宍道湖岸夕日スポットにて

全国世界
水の偉人リスト

売り上げの一部は環境・健康・平和事業に寄付されます。

小松電機産業株式会社
TEL 0852-32-3636　松江 東京 大阪 ソウル バンコク
https://www.komatsuelec.co.jp/suishin/

第30回 中国地域 ニュービジネス大賞 優秀賞 受賞
第17回 ニッポン新事業創出大賞 特別賞 受賞

製品の外観および仕様は、品質向上のため予告なく変更する場合があります。
カタログ上の色調は印刷のため実際とは異なる場合があります。本カタログの記載内容は 2024 年 7 月現在のものです。

2407OT01 無断転載を禁ず。

雷害・災害に強い 安心のネットワーク

クラウド水管理システム 水神®

yakumo Suishin やくも

特許３件出願中

水関連施設管理のDX「デジタル変革」を推進!!

情報部 SA350
W174×H174×D69

2000年発売以来
510自治体18,200施設に導入
2024年7月現在

施設の監視・通報・管理を短時間で効率化

入出力部 SA350-IF
W168×H62×D128

直撃雷 5年間保証
雷神モデル（注文仕様）

施設情報の見える化、管理のデジタル化で業務効率アップ

制御盤の製造元を選ばず、設置後は即クラウド管理スタート
巡回業務を無くし管理者負担を軽減、広域管理をバックアップ
停電時2分間欠監視で標準24時間 最長7日間水位監視を継続
交換時、通信と同時に自動で設定・最新データをダウンロードし復旧

カタログNo.
2

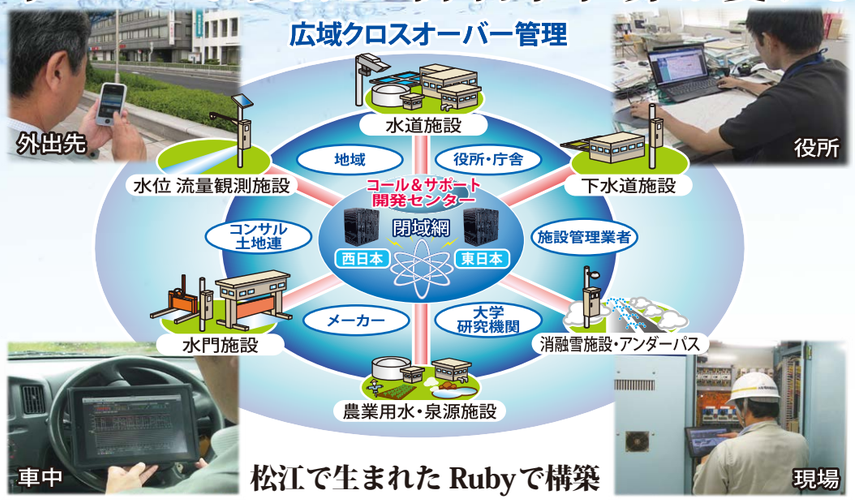
小松電機産業株式会社

やくも水神
ホームページ

国土強靭化を推進!! 水関連施設のクラウド管理のパイオニア

小規模施設から大規模施設の管理まで幅広くサポート

水のICTであなたの街 日本 世界が変わる



松江で生まれたRubyで構築

民民公連携 やくも水神で真の働き方改革が始まる!!

全国どこからでも場所を選ばず設定・操作

制御・監視・計測を一体化、現場の情報を関係者で共有、快適管理

携帯電話の閉域網を利用し、遠隔地から状態確認・設定変更・機器の運転などが行えます。

通報機能のみ、遠隔設定操作、リアルタイム監視対応など施設規模に応じたラインナップ

小規模施設管理

SA350L(通報機能のみ)

W174×H174×D70

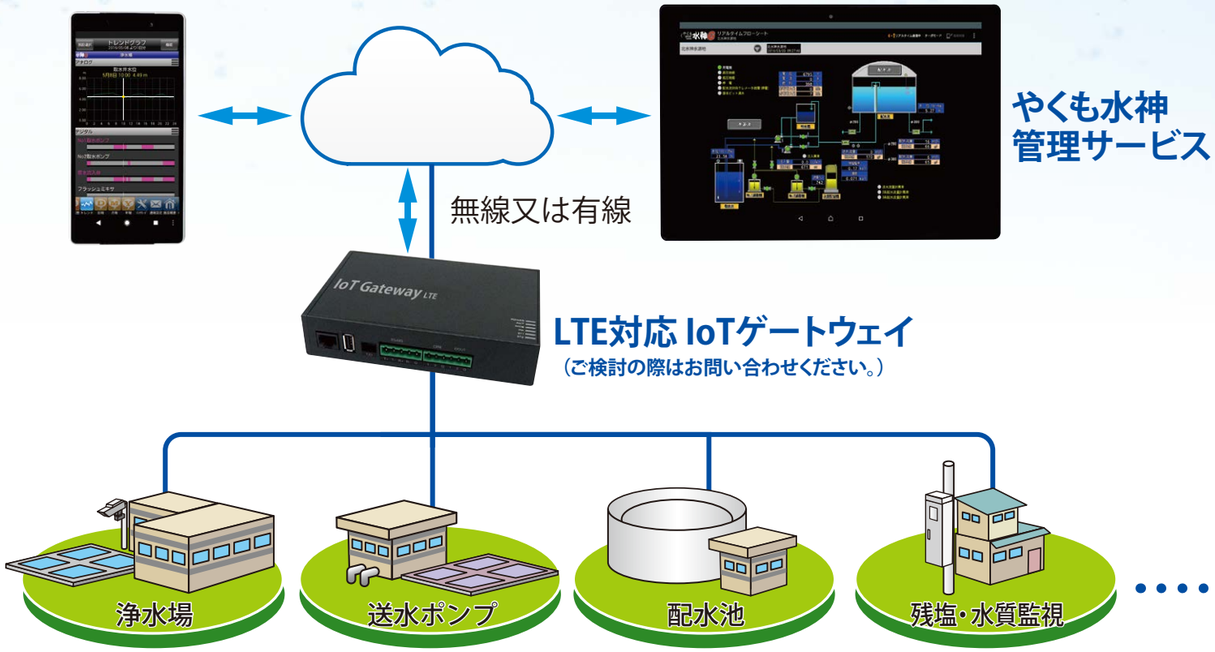
中規模施設管理

SA350・SA350-IF 一体型

W174×H350×D70

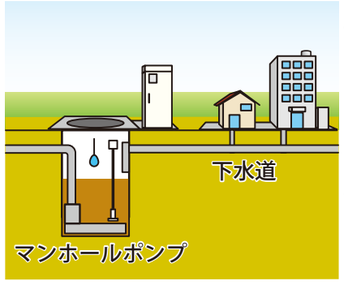
大規模施設・複数施設管理

図は水道施設を例に示します。



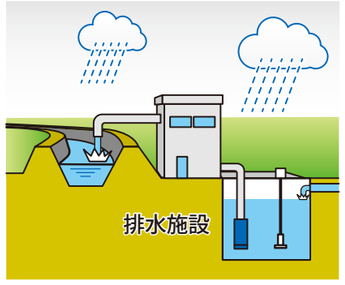
水道・下水道など施設を問わず、１台の監視装置で複数施設をまとめて監視できます。
既設の中央監視などで監視信号がまとまっている場合などにも適しています。

1.既設マンホールポンプ施設管理



既設のポンプ制御盤に設置した日から直ちにクラウド管理を利用できます。
コントローラー・入出力ユニットはコンパクト設計、ポンプ制御盤内への設置工事も容易に行えます。

2.雨水排水ポンプ管理

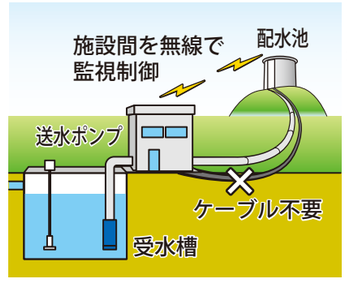


排水先の水位によるインターロック運転が行えます。
現場から離れた場所から施設の水位をはじめ、ポンプの運転状況の把握、水位計とフロートによるポンプ制御の切り替えなどが行えます。

3.アンダーパス・道路冠水警告表示

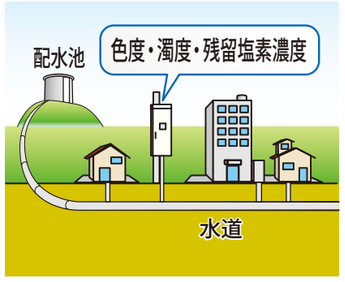
アンダーパスや道路冠水時の水位情報をもとに無線で表示器へ通知。
ソーラーパネル・バッテリー・カメラを装備。電源問題を解決し、道路の状況を映像で確認して警告表示を離れた場所から実行できます。

4.送水ポンプ施設・無線施設間監視制御



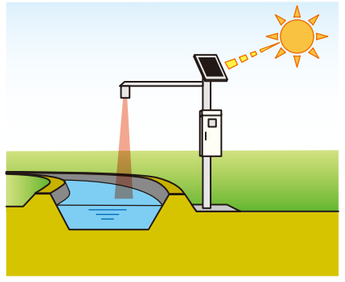
PLC などの制御機器は不要、遠隔から水位計、フロートによるポンプの制御切替が行えます。
無線通信で降雪や地震など災害によるケーブル障害を解消。
離れた施設同士の制御も容易に行えます。
誘導雷による破損を解消。

5.水質管理



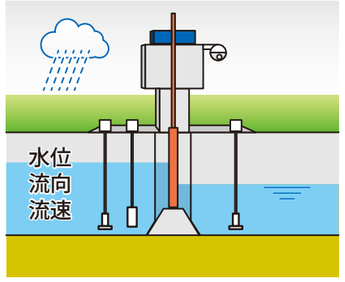
管末の水質をクラウドで管理。
コンパクトで設置や移設が簡単に行えます。
施設管理者の負担を軽減し、サンプリング調査にかかる費用を削減します。
水質以外に圧力・流量監視への対応も可能です。

6.太陽光発電による水位・流量監視



局地的豪雨、水不足、小さな河川の水位管理・監視、氾濫リスク把握にも役立ちます。
広域クロスオーバー管理で効率的な水管理を実現。
ソーラーパネル装備タイプは埋設・電源工事が不要。

7.ゲート管理



カメラ画像とデータで現場の状況を把握、遠隔から安全にゲートの状況を監視し対処できます。
流向・流速計と水位計信号を取り込み、ゲートの適切な開閉制御が行えます。

8.消融雪施設管理

積雪による交通混乱時も遠隔から管理、制御が行えます。
積雪、路面状況をクラウドで映像とデータで把握できます。
節水、節電に有効なグループ制御が行えます。